

## 第5章 今後の文化財保存・活用の基本的な考え方

### 1 西東京市の文化財保存・活用の基本理念

第3章の6つのストーリーで例示したように、本市には縄文時代以前から現代までつながる長く多様で豊かな歴史文化が息づいています。

かつては複数の村に分かれていた本市では、地域ごとに独自の歴史文化が育まれてきました。一方、「多摩」や「武蔵野」といったより広い地域の単位で、市域全体が包括できるような歴史文化の側面もあります。そのような多面的で重層的な歴史文化を示し、現在までつないできたものが、今なお残る「文化財」です。

さらに、歴史文化、文化財は1章でも述べたように、心の豊かさを生み、人と社会を結ぶものとなることで、心の安定や西東京市民としてのアイデンティティの基盤となるものと考えられます。

武蔵野台地を拓き、豊かな生活を目指し、努力や工夫を重ね暮らしてきた人々の多様な歴史文化を知り、そこから学ぶことによって、その魅力や価値を自らや地域の誇りとし、「ふるさと」西東京市という意識に支えられた豊かで安定した現在の暮らしをより輝くものとするためには、歴史文化をつなぐ貴重な文化財を、その周辺環境も含めて整備し、確実に保存することが重要です。

第1期計画では、歴史文化の息づくまちで一人一人が輝き、まちの魅力を広く発信し、未来を創る子どもたちにも貴重な文化財を継承していくために、本市の文化財保存・活用の理念を以下に定めました。

縄文から未来につなぐとは、縄文時代以前から脈々と続き、人々が生活の中で紡ぎ、つないできた長く多様な歴史文化、文化財を、絶やすことなく未来に継承することを意味しています。

第2期計画においても、この理念を継続して掲げ、行動していきます。

**縄文から未来につなぐ文化財  
守りはぐくむ、ふるさと西東京市**

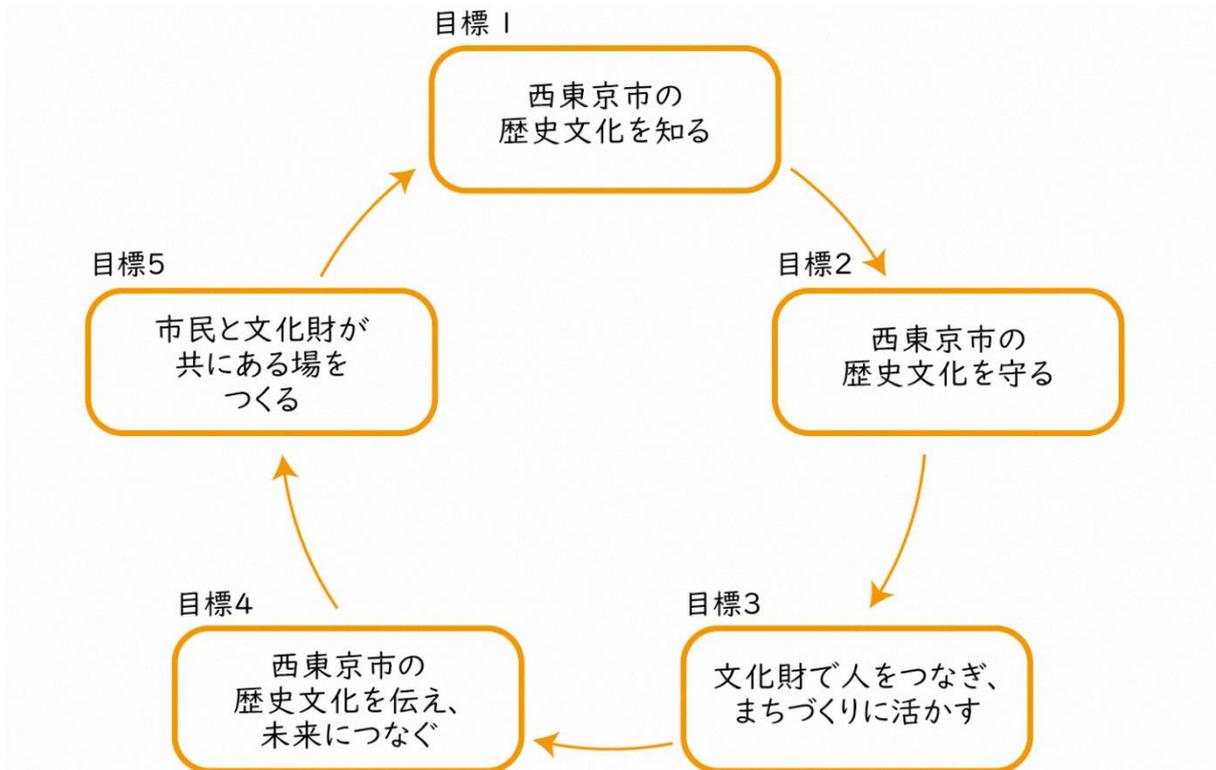
## 2 西東京市の文化財保存・活用に関わる目標

本計画では、1で定めた理念に基づき、市域における文化財の現状とそれを取り巻く課題を踏まえて、他の行政分野の計画や施策と整合と連携を図りつつ、今後の文化財保存・活用の基本的な目標を次のように整理し、この目標を達成するための取組を展開します。

基本理念を支えるのは「西東京市民の文化財への想い」です。その想いを醸成<sup>じょうせい</sup>することを大目標として、その実現のための5つの目標を掲げました。5つの目標はそれぞれ独立するものではなく、循環するもので、循環により文化財への想いが醸成され、広がり深まっていくことを目指します。

取組には、市民力を発揮する部分が多くあり、地域総がかりで目標達成に取り組めます。

### 理念に基づく5つの目標



## 『大目標 西東京市民の文化財への想いの醸成』

### 【目標1 西東京市の歴史文化を知る】

**Keyword:** 発信・市民調査員制度・デジタル化・アーカイブ

- ・文化財に興味がない人に文化財を知ってもらいます。
- ・文化財に興味がある人に文化財のファンになってもらいます。
- ・文化財にとっても興味がある人がより深く文化財を知ることができるようにします。

### 【目標2 西東京市の歴史文化を守る】

**Keyword:** 登録文化財制度・後継者（多世代交流）・防災

- ・文化財を確実に保存する仕組みと環境を作ります。
- ・文化財の所有者や保持者が、文化財を未来に残せる仕組みを共につくります。

### 【目標3 文化財で人をつなぎ、まちづくりに活かす】

**Keyword:** 関連文化財群・文化財保存活用区域・住み続けたいまち

- ・文化財を核にしたつながりをつくります。
- ・文化財でまちを輝かせます。

### 【目標4 西東京市の歴史文化を伝え、未来につなぐ】

**Keyword:** 子どもがど真ん中・まちなか先生・体験型学習  
・市民活動の推進

- ・次世代を担う子どもや若者に文化財の価値を伝えます。
- ・文化財が学びや生きがいにつながり、心を豊かにすることを伝えます。
- ・歴史文化の学びを伝える場をつくります。

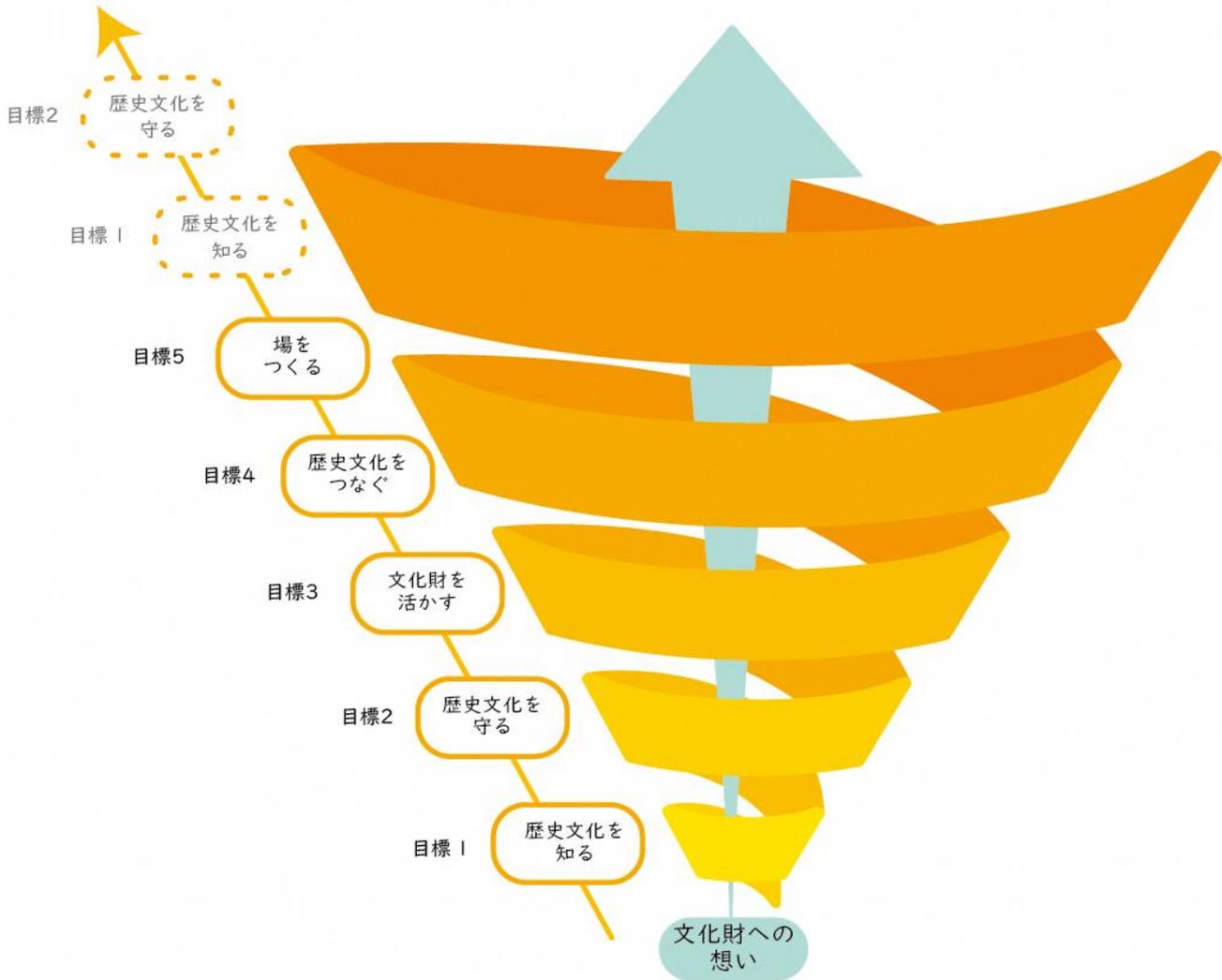
### 【目標5 市民と文化財が共にある場をつくる】

**Keyword:** まちなか文化財・郷土資料室・「管理・ガイダンス施設」  
・地域博物館

- ・ふらりと文化財に触れることのできる環境を整えます。
- ・一人一人が主役となり、文化財に関わることができる場をつくります。

## 大目標を達成するための取組のイメージ

西東京市民の文化財への想いを醸成する



循環する5つの目標を達成していく事で、市民の文化財への想いが醸成されて、広がり深まって行く！

